

前橋市城南地区二大名古屋

産泰神社「太々神楽」

二宮赤城神社「二之宮の式三番叟」

令和4年5月21日土

新能まつり

第1部 産泰神社太々神楽

時間 午後1時30分～2時30分(開場12時30分)

場所 産泰神社(前橋市下大屋町569)

定員 100名(抽選)

※定員数は感染拡大状況により変更の場合がございます

演目 舞囃子「高砂」(下平克宏ほか)

太々神楽(産泰神社太々神楽保存会)

第2部 二之宮式三番叟・薪能まつり

時間 午後4時～7時30分(開場午後2時30分)

場所 二宮赤城神社(前橋市二之宮町886)

定員 400名(抽選)

※定員数は感染拡大状況により変更の場合がございます

演目 二之宮の式三番叟(二之宮町無形文化財保存会)

狂言「蚊相撲」(野村萬斎ほか)

能「鶴飼」(下平克宏ほか)



下平克宏



野村萬斎

入場無料

当日会場受付にて伝統芸能の保存と継承のために募金を受付けております。

荒天中止

小雨決行。会場内において傘さしは禁止とし、雨合羽のご用意をお願いいたします。

主催 二之宮式三番叟・産泰神社太々神楽・
薪能まつり実行委員会 前橋市
二之宮町無形文化財保存会
後援 二宮赤城神社 産泰神社
前橋市教育委員会



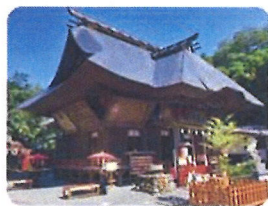
ご来場されるお客様へ新型コロナウイルス感染症に関するお願い

- ・後日送付のチケットに同封されている「健康状態申告書」をご記入の上、当日受付にご提出ください。
- ・ご来場時は必ずマスクをご着用ください。
- ・受付時に検温及びアルコール消毒へご協力ください。
- ・37.5℃以上の発熱や体調不良等の症状がある方は、ご来場を見合わせてください。
- ・お申込み時にいただいた個人情報は、本イベントのご案内に使用いたします。また、新型コロナウイルス感染者が発生した場合、必要に応じて保健所等の公的機関へ提供する可能性があります。
- ・その他、新型コロナウイルス感染症対策について、前橋市HPをご覧ください。

産泰神社会場

(第1部) 産泰神社太々神楽

産泰神社は、古くより安産・子育ての守護神として県内はもとより関東一円から参拝者が訪れている。本殿・幣殿・拝殿・神門の四棟及び境内地が、神社建築様式の指標となる貴重な遺構であるとの理由で群馬県の重要文化財に指定されている。



▲産泰神社

演目 太々神楽

産泰神社には出雲流の太々神楽が伝わっている。「反問」「四神」など23座が例祭に奉納され、現在は前橋市の重要無形文化財に指定されている。

日本の芸能には、神楽、雅楽、散楽、声明などがある。能楽はこれらの要素を取り入れて大成、能の舞事に神楽が取り入れられている。

舞囃子「高砂」(観世流)

結婚式でうたわれる祝言「高砂」。肥後国(熊本県)の阿蘇神社の神官が都へ向かう途中、播磨国(兵庫県)高砂の浦へ立ち寄る。老夫婦が現れ、松のめでたさと和歌の功德を説き、高砂・住吉の相生の松の精であると告げ、舟で沖へ出ていく。神官が摂津国(大阪)住吉に着くと、住吉明神が出現して、御代を祝福する舞を舞う。能の楽器は、笛・小鼓・大鼓・太鼓の4種。囃子に合わせて住吉明神の舞(神舞)をご覧いただきます。徳川幕府の正式な催しで、「翁」に続いて演じられたというほど格式が高い。

タイムスケジュール

12:30 開場
13:30 舞囃子「高砂」・太々神楽
14:30 終了

二宮赤城神社会場

(第2部) 二之宮式三番叟・新能まつり

二宮赤城神社は、平安時代の延喜式に記された上野国(群馬県)十二社の二宮にあたる古社。第2部では、世界遺産となった能楽の原型である式三番を二之宮町無形文化財保存会により上演。続いて、能楽師による「蚊相撲」「鵜飼」を舞殿で披露。

演目

式三番

式三番と能「翁」は同じもの。式三番＝「翁」(神事)のあとに、余興として行われるストーリーのあるものが、今日、能と呼んでいるものである。

「二之宮の式三番叟」はその創始は中世にさかのぼるとされる。その後の変遷や中絶の危機を乗り越え今日に至る。

入が古式により上演できるものは、今では群馬県内で唯一。

狂言「蚊相撲」(和泉流)

あらすじ

登場人物は大名、召使の太郎冠者、蚊の精です。相撲が流行っているので大名は相撲取りを雇入れようと、太郎冠者に探してくるように命じます。街道に出た太郎冠者のところに、相撲取りになって都に上り、思うままに血を吸おうと蚊の精が登場します。相撲取りになりました蚊の精と大名が相撲を取るようになります。蚊に刺されて目を回した大名は、その正体を見破り、扇で風を起こさせ、蚊の精をフラフラにさせ対抗します。



▲狂言「蚊相撲」

能「鵜飼」(観世流)

あらすじ

安房国(千葉県)清達出身の僧侶一行が甲斐国(山梨県)石和を訪れます。夜になると松明を持つ鵜使いの老人が現れます。実は自分は禁漁の石和川で鵜を使って漁をしたため、仲間たちに川に沈められ殺された、その亡霊であると名乗り、懺悔のため鵜飼の業を披露します。僧侶たちは河原の石に法華經の經文を記し、川に沈めて老人の供養をします。すると閻魔大王が現れ老人が成仏を遂げたと伝え、法華經のありがたさを称え舞います。

タイムスケジュール

14:30 開場
16:00 挨拶・解説
二之宮の式三番叟
17:20 休憩
17:50 火入れの儀
狂言「蚊相撲」
能「鵜飼」
19:30 終了

申込方法

通常はがきに、①氏名 ②郵便番号 ③住所 ④電話番号 ⑤参加希望人数(申込者含め4名まで) ⑥参加希望区分[A:太々神楽+二之宮式三番叟・新能] [B:二之宮式三番叟・新能のみ]をご記入の上、下記の宛先に投かんして下さい。

宛先

〒371-8601 前橋市大手町二丁目12-1
前橋市役所文化国際課(TEL.027-898-6992)

締切

4月22日(金) 必着
※申込多数の場合は抽選とさせていただきます。

結果発表

4月28日(木) までに発送いたします。



【皆様へのお願い】二之宮式三番叟の保存と継承に向けて、衣装や舞台を維持管理するための募金をお願いいたします。

※会場に「募金箱」を設置いたします。

●お問合せ

二之宮式三番叟・産泰神社太々神楽・新能まつり実行委員会(前橋市文化スポーツ観光部文化国際課) TEL.027-898-6992(平日 8:30~17:00)

協賛

ぐんま食と歴史文化財団

ネットヨコ群馬

富士スバル

前橋自動車整備振興会

群馬トヨペット

安産・子育て
産泰神社

トヨタカローラ群馬

朝日印刷工業株式会社